時局講演会から

「国民生活を守るために」との視点で行動

「安心・安全」で勢いのある国に

公明党 太田あきひろ代表

公明党は、庶民や中小企業の味方。地域で困っている人たちのために、公明党の存在がある。

例えば医療の現場では、産科・小児科医の数が少ない。地域の中核の病院がなくなるなど、救急医療体制が崩れ、“患者たらい回し”事件も起きている。これを変えなくてはいけない。病院の空床情報などを中央に一元化する情報管理システムを法律化し、全都道府県で実現させていきたい。

日本経済に活力を取り戻すためには、労働力人口を増やすことだ。ニートやフリーターなど、正規雇用に就いていない若者の「力」を発揮させたい。また、60歳代以上で働く意欲のある人にも、仕事があるという日本にしたい。さらに女性が結婚後も、子育てをしながら働き続けられる環境条件や賃金の体制をつくり上げることも重要だ。今後も「安心・安全」で勢いのある国づくりのために、先頭に立って頑張っていきます。

「先見の明」がある太田・公明党

前内閣官房長官　与謝野 馨 衆院議員

最近の事例を見ると、私は自民党より、太田・公明党の言っていることのほうが正しいと思うことが、いくつもあります。その第一が、「薬害C型肝炎訴訟」です。公明党は当初から、すべての被害者を助けるべきだと言っていた。

しかし、自民党と官邸はダメだといって、期間を限定したりして、被害者の一律救済を拒否していたんです。その後、公明党の後押しもあり、福田首相もやはり一律救済が大事だということで法案化した。出来上がった法案を見たら、公明党が言っていた通りの内容でした。公明党には先見の明があるんです。

公明党は“国民生活を守るために”との視点で行動している。だからこそ、自民党は公明党と一緒になって考えていかなければいけない。私自身、太田代表とは長い付き合いで、大切な友人です。これからも、太田代表のご意見に十分、耳をかたむけ、自民党としても全力で応援していきます。

千葉県沖でのイージス艦事故

OHTA AKIHIRO

再発防止へ全力で原因究明

太田代表が福田首相に直言

首相が吉清さん家族を訪問・謝罪

行方不明の吉清さん親子宅を訪れ、親族から手紙を受け取る福田首相（左）

海上自衛隊イージス艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故で、行方不明となっている吉清さん親子の自宅を、3月2日、福田首相が訪問し、家族に謝罪しました。これは公明党の議員OBが、吉清さんの親戚から“福田首相に直接会って伝えたい”との声を聞き、同党の富田衆院議員を通して太田あきひろ代表に報告（2月29日）。太田代表が翌日、福田首相に吉清さん家族への一刻も早い謝罪を進言し、実現をみたものです。

太田代表はその後も事故の再発防止へ、全力で原因究明を進めています。

また、太田代表は「薬害肝炎」問題の折にも、原告団の声を聞き、福田首相に直談判。議員立法による被害者の全員一律救済を実現させています。

太田代表が各国首脳と相次いで会談

OHTA AKIHIRO

環境保全、青年交流を促進

中国　唐国務委員　「青少年交流を重視する公明党に期待」
韓国　李大統領　「公明党が韓日関係の前面での活躍を」
英国　ブレア前首相　「環境問題への取り組みに心から共感」

唐 中国国務委員

李 韓国大統領

ブレア 前英首相

太田あきひろ代表は、2月から3月にかけ、中国、韓国、英国の各国首脳と相次いで会談しました。

2月22日には、都内で中国の唐国務委員と会談。唐国務委員は、「長きにわたって、公明党は中日友好を堅持し、一貫して両国の青少年交流を重視してきた」と評価。太田代表は日中環境基金の創設などについて述べ、日中関係のさらなる強化を約しました。

3月10日には、韓国の大統領府で李大統領と対談。太田代表は、政治だけでなく青少年交流の必要性などを強調。李大統領は、「以前より公明党の政策や理念には好印象を持っていた。韓日関係の前面に立って活躍を」と期待を寄せました。

同16日には、ブレア前英首相と都内で意見交換。太田代表は、地球温暖化対策として、文明の革命と共に心の革命をと強調。ブレア氏は「単に政策を変えるだけでなく、人間の考え方、姿勢を変えなければならない」と共感を示しました。